

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 20 年度 理事総会(第 1 回理事会)

平成 20 年 4 月 16 日(水) 14:00 ~ 16:00

盛岡第一高等学校会議室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1 平成 19 年度事業報告ならびに決算報告	
	(1) 平成 19 年度役員	2
	(2) 事業報告	3
	(3) 決算報告	
	ア 一般会計	4
	イ 事業費会計 NHK 杯県大会	5
	ウ 事業費会計 メディアコミュニケーションセミナー	6
	エ 事業費会計 新人大会	7
	2 放送専門部規約ならびに細則の改定	8
	3 平成 20 年度役員を選出(改選期)	14
	4 平成 20 年度事業計画ならびに予算	
	(1) 事業計画	15
	(2) 一般会計予算	16
	5 第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト	17
	6 その他の事業	18
	7 その他	
連絡	1 放送専門部の連絡方法	21
	2 上位大会の要項等	21
	3 平成 21 年度の事業日程(予定)	22
	4 岩手県高文連第 1 回理事会報告	22
閉会		
資料	平成 19 年度大会結果	23
	岩手県高文連紀要・全国高総文祭記録集より	(省略)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2008/bod20080416.pdf>

協議 1 平成 19 年度事業報告ならびに決算報告

(1) 平成 19 年度役員

専門部長	岩手県立盛岡商業高等学校長	馬上達幸	
副専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	遠藤洋一	
専門部代表理事	岩手県立盛岡商業高等学校	川村理恵子	
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	菊地達哉	盛岡支部理事
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	大石敦子	
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	佐々木宏昌	
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	清瀬剛志	
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	大森悦子	
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	新藤彰一	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	吉田光忠	
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	
専門部理事	岩手高等学校	八代敬一	
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	鈴木浄美	
胆江支部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	
一関支部理事	岩手県立一関第二高等学校	小野寺美知子	
釜石支部理事	岩手県立大槌高等学校	千葉光哉	
宮古支部理事	岩手県立岩泉高等学校	遠藤直樹	
久慈支部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	
二戸支部理事	岩手県立福岡高等学校	杉本聖房	
気仙支部理事		(空席)	
監事	岩手県立盛岡第一高等学校	細川明典	
監事	岩手県立盛岡工業高等学校	武藤朗	
事務局長	岩手県立盛岡商業高等学校	川村理恵子	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡商業高等学校	吉田光忠	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡商業高等学校	川村高敏	
事務局員	岩手県立盛岡商業高等学校	齋藤達正	
事務局員	岩手県立盛岡商業高等学校	丹野満	

(2) 事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催 (太字は主催)
4	13	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	19	木	理事総会 第1回常任理事会	盛岡商業高校	放送専門部
5	21	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	8	金	第30回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第54回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (24校・138エントリー・313名参加)	県民会館	放送専門部 NHK
7	2 3	月 火	第7回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	14	土	盛岡支部アナウンス朗読講習会(13名参加)	NHK盛岡放送局	盛岡支部
7	23 26	月 木	第54回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連 NHK
7	31	火	全国高文連放送専門部顧問会議	くにびきメッセ(松江)	全国高文連
8	1 2	水 木	第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会)放送部門	くにびきメッセ(松江)	全国高文連
8	4	土	交通安全テレビCM制作講習会	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	22	水	第54回NHK杯全国高校放送コンテスト公開セミナー	放送ライブラリー(横浜)	全放連 NHK
9	6	木	第2回常任理事会	盛岡商業高校	放送専門部
9	21	金	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	ユラックス熱海	東北高文連
9	28	金	第30回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	さくらホール(北上)	県高文連
10	4	木	高校生カルチャーキャンプ事業 メディアコミュニケーションセミナー (18校・166名参加)	県民会館他	放送専門部
11	9	金	第25回岩手県高等学校放送新人大会 (20校・143エントリー・178名参加)	県民会館	放送専門部
11	13	火	交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
11	28	水	県高文連臨時理事会	盛岡第四高校	県高文連
12	24	月	盛岡支部アナウンス朗読研修会(46名参加)	盛岡第一高校	盛岡支部
12	26 27	水 木	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連 NHK
2	1 2	金 土	第11回東北高等学校放送コンテスト(福島大会)	ユラックス熱海(郡山)	東北高文連
2	6	水	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	13	水	第3回常任理事会	盛岡商業高校	放送専門部
3	13	木	会計監査、事務局引継(盛岡一高へ)	盛岡商業高校	放送専門部
3	29	土	第55回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連 NHK

(3) 決算報告

ア 一般会計

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
平成19年度一般会計決算書

1 収入の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
活 動 補 助 費	220,000	220,000	0	県高文連より
専門部活動補助費	170,000	170,000	0	
強 化 補 助 費	50,000	50,000	0	
研 修 費	50,000	50,000	0	県高文連より
県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯県大会
文化部活動育成事業費	131,000	164,700	33,700	カルチャーキャンプ
参 加 料	381,000	413,000	32,000	
高 総 文 祭	180,000	210,000	30,000	¥3,000円×24校 ¥1,000円×138作品
メディアCセミナー	50,000	0	50,000	
新 人 大 会	151,000	203,000	52,000	学校¥3,000×20校 個人¥1,000×143人
繰 越 金	299,355	299,355	0	
雑 収 入	645	916	271	預金利息
合 計	1,162,000	1,227,971	65,971	

2 支出の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
事 務 費	30,000	0	30,000	
旅 費	120,000	207,231	87,231	理事会旅費、東北理事会、第55回NHK杯コンテスト会議、監査会
事 業 費	826,000	751,888	74,112	
理 事 会	15,000	13,422	1,578	茶菓子代
高 総 文 祭	260,000	290,000	30,000	
メディアCセミナー	210,000	164,700	45,300	
新 人 大 会	211,000	207,526	3,474	
全 国 大 会 等	130,000	76,240	53,760	事務局長旅費、振込手数料 他
通 信 費	10,000	4,200	5,800	切手代、振込手数料 他
負 担 金	10,000	10,000	0	東北地区高文連放送部会費
予 備 費	166,000	2,680	163,320	U S B フラッシュメモリ
合 計	1,162,000	975,999	186,001	

3 決算

収入金額 支出金額 差引残金
1,227,971 - 975,999 = 251,972

残金については、来年度に繰り越し致します。

決算書、帳簿及び証拠書類が正確であることを認めます。

平成20年 3月13日

監 事 武 藤 朗

監 事 細 川 明 典

第30回岩手県高等学校総合文化祭放送部門発表大会
《2007 第54回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会》
決 算 書

1 収入の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
高文祭補助費	80,000	80,000	0	県高文祭部門費
参 加 料	180,000	210,000	30,000	¥3,000円×24校 ¥1,000円×138作品
合 計	260,000	290,000	30,000	

2 支出の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
報 償 費	140,000	175,588	35,588	
審査員謝金	60,000	0	60,000	
表彰費	80,000	175,588	95,588	盾、DVテープ
旅 費	40,000	17,550	22,450	
需 用 費	53,000	60,802	7,802	
食糧費	45,000	40,644	4,356	昼食、茶菓
資料費	8,000	20,158	12,158	事務用品代・プリンタインク代・ 写真用紙代
運 営 費	0	0	0	会場費（岩手県民会館）
役 務 費	18,000	10,260	7,740	郵送料・発送代
予 備 費	9,000	25,800	16,800	MDラジカセ代
合 計	260,000	290,000	30,000	

3 決算

収入金額	支出金額	差引残金
290,000	- 290,000	= 0

残金については、専門部会計に繰り入れます。

決算書、帳簿及び証拠書類が正確であることを認めます。

平成20年3月13日

監 事 武 藤 朗

監 事 細 川 明 典

ウ 事業費会計 メディアコミュニケーションセミナー

平成19年度 高校生カルチャーキャンプ事業
《2007 メディア・コミュニケーションセミナー》
決 算 書

1 収入の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
カルチャーキャンプ事業費	131,000	164,700	33,700	文化部活動育成事業費
参加料	65,000	0	65,000	
雑収入	0	0	0	
合 計	196,000	164,700	31,300	

2 支出の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
報 償 費	100,000	80,000	20,000	講師謝礼 ¥20,000×4名
旅 費	10,000	950	9,050	役員旅費
需 用 費	55,000	76,470	21,470	
食 糧 費	35,000	34,569	431	昼食、茶菓子
資 料 費	20,000	41,901	21,901	コピー代、インク、封筒代
運 営 費	0	0	0	会場費
役 務 費	15,000	7,280	7,720	役員委嘱文書・案内送料
予 備 費	16,000	0	16,000	
合 計	196,000	164,700	31,300	

3 決算

収入金額	支出金額	差引残金
164,700	- 164,700	= 0

残金については、専門部会計に繰り入れます。

決算書、帳簿及び証拠書類が正確であることを認めます。

平成20年3月13日

監 事 武 藤 朗

監 事 細 川 明 典

平成19年度
第25回岩手県高等学校放送新人大会
決 算 書

1 収入の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
専 門 部 事 業 費	60,000	4,526	55,474	一般会計より
参 加 料	151,000	203,000	52,000	学校 ¥3,000 × 20校 個人 ¥1,000 × 143人
合 計	211,000	207,526	3,474	

2 支出の部

種 目	予算額	決算額	比 較	摘 要
報 償 費	140,000	159,000	19,000	
審 査 員 謝 金	80,000	80,000	0	¥20,000 × 審査員4名
表 彰 費	60,000	79,000	19,000	盾、副賞(MD)
旅 費	7,000	950	6,050	
需 用 費	39,000	47,576	8,576	
食 糧 費	36,000	36,236	236	昼食、茶菓子
資 料 費	3,000	11,340	8,340	コピー用紙代・写真プリント代
運 営 費	0	0	0	会場費
役 務 費	15,000	0	15,000	
予 備 費	10,000	0	10,000	
合 計	211,000	207,526	3,474	

3 決算

収入金額 支出金額 差引残金
207,526 - 207,526 = 0

決算書、帳簿及び証拠書類が正確であることを認めます。

平成20年3月13日

監 事 武 藤 朗

監 事 細 川 明 典

協議 2 放送専門部規約ならびに細則の改定

(1) 役員選任(選出)に関する細則 別表 1 の改定

- ・内容...専門部理事を，大会に参加する学校と盛岡支部の顧問を原則とする。あわせて，支部理事を専門部理事が兼ねる原則と，監事を前事務局と次期事務局が担当する慣例を明文化する。
- ・理由...理事会で大会要項を説明している現状に即した改定。なお，理事会(理事総会を含めて年 3 回)の旅費は放送専門部負担である。

(2) 規約旧第 12 条(新 14 条)の改定，新 16 条ならびに会計事務に関する細則 新第 3・4 条の制定

- ・内容...「参加料」を，「参加料と登録料」に変更する。「登録料」は，従来の「大会学校参加料(3,000 円)」と，メディアコミュニケーションセミナーの参加料に代わるものとする。各校の負担増はない。「学校参加料」を「学校登録料(6,000 円)」に改め，大会参加校負担とする。メディアコミュニケーションセミナーの「参加料」は「個人登録料」に改め，この行事に参加する生徒一人当たり 500 円を負担いただく。
- ・理由...「参加料」は大会の経費にしか使えないこと，大会には高文連からの補助があることから，大会以外に使える財源を確保したい。以上の改定で，高文連への会計報告が容易になるとともに，新規事業として，生徒対象の研修会，校内放送指導者講座(東京)への顧問の派遣ができる見込み。

(3) 岩手県高等学校文化連盟規約と関係の規定に沿った文言の改定

- ・内容...上記(1)(2)の文言改定にあわせ，放送専門部の規約と細則の文言を県高文連の規約と規定に沿ったものに改める。
- ・理由...従来の放送専門部規約と細則は，岩手県吹奏楽連盟の規約等をベースに平成 13 年に作成したものである。その後，平成 17 年に県高文連の規約と規定が大幅に改定されており，これに沿ったものにする必要があると考える。

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 改定案

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長の所属する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は岩手県高等学校文化連盟に加盟した高等学校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、胆江、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、研修会、講習会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 1名
- (3) 専門部代表理事(事務局長) 1名
- (4) 専門部理事 若干名

(5) 支部理事 各支部1名(10名)

(6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

- (1) 事務局長(専門部代表理事) 1名
- (2) 庶務担当 若干名
- (3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、理事総会において選出する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦に基づき、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認を受ける。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは必要により補充することがある。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。
- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 本専門部が主催する事業毎、ならびに上部大会を主管する毎に、実行委員会を組織し、専門部長がこれを招集し事業を遂行する。

第12条(会議に付議すべき事項)

(1) 理事総会

事業報告および決算
事業計画および予算
役員を選出
規約の改定
その他特に必要な事項

(2) 理事会

理事総会から委嘱された事項
細則の改定
加盟団体から提案された事項
その他必要な事項

第13条(議決)

会議は構成員の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。

第5章 会計

第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。

役員選出に関する細則 改定案

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

事務局は、2年交代の輪番制とする。

2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。

3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

1 この細則は理事会の議により改定することができる。

2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。

3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。

4 この細則は、平成16年4月から施行する。

5 この細則は、平成17年4月から施行する。

6 この細則は、平成20年4月から施行する。

別表1 役員案作成に関する事項

専門部長 事務局校の校長とする。

副専門部長 次期事務局校の校長とする。

専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。

専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事 前事務局校と次期事務局校とする。

別表2 事務局の輪番に関する事項

1 盛岡白百合学園 1996～1997年度

2 盛岡第二 (インターハイ式典)

3 盛岡第三 1998～1999年度

4 盛岡南 2000～2001年度

5 不来方 2002～2003年度

6 盛岡工業 2004～2005年度

7 盛岡商業 2006～2007年度

8 盛岡第一 2008～2009年度

9 盛岡市立 2010～2011年度

10 盛岡北 2012～2013年度

11 盛岡第四 2014～2015年度

12 岩手 2016～2017年度

(12番の次は1番に戻る)

備考 輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則 改定案

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、次のとおりとする。納期は理事会で定める。

- (1) 学校登録料 NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会に参加する加盟校1校あたり、年額6,000円。
- (2) 個人登録料 研修会・講習会に参加する1・2年の生徒1人あたり、年額500円。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。

3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

(1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。

(2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。

(3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。

(4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

(5) 前各号の規定に関わらず、全路程の鉄道賃金等が500円に満たない場合には500円を支給する。(

1)

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

(1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支給する。

(2) 旅行の用務地が県外である場合には、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合には、当該各号に規定する額に調整する。

(1) 行程40キロメートル未満の旅行(2)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。

(2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。

(3) 公用車等(3)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当りの定額により支給するものとし、その額は9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合には、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

(1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。

(2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

1 この規定は、平成17年4月1日から施行する。

2 この規定は、平成18年4月21日から施行する。

(補足)

1 市内バス運賃往復は、500円が妥当

2 1日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

3 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

協議 3 平成 20 年度役員を選出(改選期)

専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	遠藤洋一	
副専門部長	盛岡市立高等学校長	鈴木俊	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第一高等学校	菊地達哉	
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	千葉隆	
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	鷹羽要	
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	石原聰	
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	園田貴弘	
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	金森嘉人	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	佐藤英靖	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	川村理恵子	監事
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	監事・盛岡支部理事
専門部理事	岩手高等学校	竹本英三	
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立花巻南高等学校	前川啓太郎	
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	胆江支部理事
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	岩淵俊郎	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	鈴木浄美	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	遠藤直樹	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	和田健利	二戸支部理事
		(空席)	気仙支部理事
事務局長	岩手県立盛岡第一高等学校	菊地達哉	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	鈴木雄平	
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	

協議 4 平成 20 年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	11	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	16	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
5	26	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	6	金	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	30	月	第8回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	1	火			
7	14	月	アナウンス朗読研修会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	22	火	第55回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	25	金			
7	25	金	Nコン番組制作セミナー	NHKふれあいホール	全放連・NHK
8	2	土	交通安全テレビCM制作講習会	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	8	金	全国高文連放送専門部顧問会議	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	9	土	第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)放送部門	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	10	日			
8	28	木	第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9			東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	山形県民会館(山形)	東北高文連
9	24	水	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
10	8	水	第31回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連
11	11	火	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第26回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	13	木	第5回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
12			放送研修会	盛岡第一高校	放送専門部
12	26	金	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
12	27	土			
2	1	日	県高文連優秀校発表会(仮称)	県民会館	県高文連
2	7	土	第12回東北高等学校放送コンテスト	山形県民会館他(山形)	東北高文連
2	8	日			
2			県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2			第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
2			会計監査	盛岡第一高校	放送専門部
3			第56回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

(2) 一般会計予算

岩手県高等学校文化連盟放送専門部 平成20年度一般会計予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	251,972	299,355	299,355	-47,383	
B 登録料					
B-01 学校登録料	132,000	96,000	132,000	36,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02 個人登録料	83,000	50,000	0	33,000	講習会参加生徒1人あたり500
登録料小計	215,000	146,000	132,000	69,000	
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	130,000	135,000	138,000	-5,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	140,000	100,000	143,000	40,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	270,000	235,000	281,000	35,000	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	主にNHK杯県大会
D-02 セミナーサポート費	160,000	131,000	164,700	29,000	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	
補助金小計	510,000	481,000	514,700	29,000	
E 雑収入	28	645	916	-617	利子
合計	1,247,000	1,162,000	1,227,971	85,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	10,000	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02 事務費	70,000	30,000	2,680	40,000	
A-04 通信費	10,000	10,000	4,200	0	
A-05 会議費	10,000	15,000	13,422	-5,000	
運営費小計	100,000	65,000	30,302	35,000	
B 会議旅費					
B-01 諸会議	70,000	50,000	48,560	20,000	理事総会、理事会
B-02 県外諸会議	300,000	200,000	234,911	100,000	東北・全国会議、全国講習会等
会議旅費小計	370,000	250,000	283,471	120,000	
C 事業費					
C-01 NHK杯県大会	260,000	260,000	290,000	0	事業予算・決算別途
C-02 講習会	200,000	210,000	164,700	-10,000	事業予算・決算別途
C-03 新人大会	210,000	211,000	207,526	-1,000	事業予算・決算別途
事業費小計	670,000	681,000	662,226	-11,000	
D 予備費	107,000	166,000	0	-59,000	
総計	1,247,000	1,162,000	975,999	85,000	

協議 5 第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第 55 回 NHK 杯全国高校放送
コンテスト岩手県大会

(1) 予算

第31回県高総文祭放送部門兼第55回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	一般会計D-01
B 参加料	130,000	135,000	138,000	-5,000	一般会計C-01
C 一般会計より	50,000	0	0	50,000	一般会計D-03
(廃止項目分)		45,000	72,000	-45,000	(学校参加料)
合計	260,000	260,000	290,000	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	20,000	60,000	0	-40,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	80,000	80,000	175,588	0	楯 副賞
報償費小計	100,000	140,000	175,588	-40,000	
B 旅費	50,000	40,000	17,550	10,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	50,000	45,000	40,644	5,000	審査員 役員昼食
C-02 資料費	30,000	8,000	20,158	22,000	写真・事務用品
需用費小計	80,000	53,000	60,802	27,000	
D 役務費	10,000	18,000	10,260	-8,000	郵送料等
E 予備費	20,000	9,000	25,800	11,000	
総計	260,000	260,000	290,000	0	

(2) 上位大会等

第 8 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト

6 月 30 日(月)~7 月 1 日(火) 安比高原細野地区活性化センター
アナウンス部門・朗読部門の全国大会進出者対象

アナウンス朗読研修会

7 月 NHK 盛岡放送局
アナウンス部門・朗読部門の全国大会進出者対象
講師: NHK アナウンサー

第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会

7 月 22 日(火)~25 日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター, NHK ホール

(3) 要項

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟・NHK 盛岡放送局

3. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

4. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

5. 日時

平成 20 年 6 月 6 日(金) 9:00～16:30

日程の詳細については、後日参加校に連絡する。

6. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

7. 開催部門とエントリー数

- (1)アナウンス部門 各校 4 名以内
- (2)朗読部門 各校 4 名以内
- (3)ラジオドキュメント部門 各校 2 本以内
- (4)テレビドキュメント部門 各校 2 本以内
- (5)創作ラジオドラマ部門 各校 2 本以内
- (6)創作テレビドラマ部門 各校 2 本以内

8. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

9. 表彰と全国大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

- 最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦
- 優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦
- 優良賞 3 賞状 ...全国大会推薦
- 奨励賞 4 賞状

(2)ラジオ・テレビドキュメント部門

- 最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦
- 優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦
- 優良賞 2 賞状...全国大会推薦

(3)創作ラジオ・テレビドラマ部門

- 最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦
- 優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

(4)番組の 4 部門の全国大会推薦は、同一部門 1 校 1 本以内。エントリー数によって表彰数を変更することがある。

10. 各種規定

第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト要項「校内放送研究 No.145」のうち、専ら全国大会の規定である部分を除く。県大会に適用される規定は「校内放送研究 No.145」の次の各項目であること。

- ・ 4 ページ(開催要項)1・2・3・7
- ・ 5 ページ(参加規定)1・4
- ・ 6・7 ページ(アナ朗部門規定)1・2・3・8
- ・ 8～15 ページ(番組各部門規定)1・2・3・4・9・10

「校内放送研究 No.145」ならびに各種様式は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

11. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。

12. その他

- (1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。
- (2)使用著作物については、著作隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。
- (3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	<p>参加申込書</p> <p>別に配布する様式により作成した電子データをメールで事務局に送付する。 申込書は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp</p>	5月16日(金) 17:00 必着
	<p>負担金</p> <p>(1) 参加料: 各部門とも1名(1本)につき,1,000円 (2) 学校登録料: 参加1校につき,6,000円 (1)(2)の合計額を次の口座に学校名で振込む。 岩手(いわて)銀行 上田(うえだ)支店 普通 2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長 遠藤洋一(えんどうよういち) 振込手数料は各校負担,負担金の領収書は銀行発行のものとする。</p>	
提出物	<p>ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門</p> <p>MD1本・台本3部を事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。 テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門</p> <p>テープ1本・台本3部を事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。 送付先: 〒020-8515 盛岡市上田3-2-1 盛岡一高内 高文連放送専門部事務局 作品本体とケースには,市販のVHSテープまたはMDに同封されているシールに次の内容を記入して貼付すること。書式は指定しない。 部門名・エントリー番号,学校名,番組名</p>	6月3日(火) 17:00 必着
	<p>アナウンス部門・朗読部門</p> <p>原稿3部を審査会場に持参する。</p>	6月6日(金)

台本・原稿・テストパターン等の各種様式は,放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

理事ならびに引率顧問の皆様には,運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には,当日の昼食を準備いたします。

運営と審査の分担,運営マニュアル,日程の詳細等は,エントリー確定後,ご連絡いたします。

大会事務局

〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 菊地達哉

tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp

電話 019-623-4491 fax. 019-654-4227

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

協議 6 その他の事業

以下の要項は、第 2 回理事会で審議します。

(1) セミナーサポート事業メディアコミュニケーションセミナー

9 月 24 日(水) 県民会館他

アナウンス・朗読・番組の分科会ならびに全国大会報告

(2) 第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第 26 回岩手県高等学校放送新人大会

11 月 11 日(火) 県民会館

第 12 回東北高等学校放送コンテストならびに第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門大会の県予選として実施する。

開催部門と上位大会推薦数は次のとおり。

- ・アナウンス部門 上位 3 名全国推薦，上位 12 名東北推薦
- ・朗読部門 上位 3 名全国推薦，上位 12 名東北推薦
- ・ビデオメッセージ部門 上位 2 本全国推薦
- ・オーディオピクチャー部門 上位 1 本全国推薦
- ・ラジオキャンペーン部門 上位 6 本東北推薦
- ・テレビキャンペーン部門 上位 6 本東北推薦

(3) 放送研修会

12 月 盛岡第一高等学校

東北大会進出者を中心とした研修会

(4) 校内放送指導者講座

12 月 26 日(金)～27 日(土) 千代田放送会館(東京)

顧問対象の研修会

協議 7 その他

連絡 1 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

放送専門部のウェブサイトを設けました。ご利用ください。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会では文書の送付・申込書の送付を、すべてメールやウェブでおこなっています。

(3) 事務局からの文書発送について

加盟校あての文書は、公立高校へは GWW で、私立高校へはメール添付で送付します。同時に、放送専門部のウェブサイトにもデータを掲載しダウンロードできるようにします。また、その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

(4) 部員数調査について

事業計画の基礎資料として、部員数等の調査をおこないます。後日メーリングリストまたは個別のメールで連絡しますので、よろしくご願ひいたします。

連絡 2 上位大会の要項等

(1) 第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

7 月 22 日(火)～25 日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター，NHK ホール

(2) 第 32 回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)放送部門

<http://www.gunmasoubun.com/>

8 月 9 日(土)～10 日(日) 伊勢崎市民会館

岩手県代表

- ・アナウンス部門 伊藤真実(白百合 3) 菅野友美(黒沢尻北 3) 久保田祥子(宮古 2)
- ・朗読部門 細谷翠(盛岡第三 3) 大森有真(白百合 3) 永野生美(盛岡第二 3)
- ・オーディオピクチャー部門 花巻北
- ・ビデオメッセージ部門 盛岡第一 黒沢尻北

準備日程

- ・4/21(月)県高文連提出書類締切
- ・5/7 (水)部門別参加票・作品・原稿等一式集約 花巻北高 高橋篤志先生
- ・5/12(月)～19(月)群馬県事務局受付期間
- ・5/30(金)宿泊サポート申込締切

(3) 県高総体総合開会式の司会

高体連から推薦依頼 盛岡白百合学園高等学校と盛岡第二高等学校，計 4 名に依頼。

(4) 県高総文祭総合開会式について

盛岡開催。放送部門から番組を 2 本程度上映する予定。

連絡3 平成21年度の事業日程(予定)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4			理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
6	5	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第9回東北地区高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
			アナウンス朗読研修会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	火 金	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
			第56回NHK杯全国高校放送コンテスト公開セミナー	(首都圏)	全放連・NHK
7	31	金	全国高文連放送専門部顧問会議	松坂市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	1 2	土 日	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門	松坂市民文化会館(三重)他	全国高文連
			第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9			東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田)	東北高文連
10	2	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館	県高文連
10	8	木	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	13	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第27回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12			放送研修会	盛岡第一高校	放送専門部
12			校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2			県高文連優秀校発表会(仮称)	県民会館	県高文連
2			第13回東北高等学校放送コンテスト	(秋田県)	東北高文連
2			会計監査、盛岡市立高校へ引継ぎ	盛岡第一高校	放送専門部
3			第57回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

NHK杯県大会の日程について、高総体と重ならないよう、平成22年度以降配慮する。

連絡4 岩手県高文連第1回理事会(4/11)報告

(1) 第17回県高文連研究大会

11月13日(木)開催予定。今年度でいったん終了する。

(2) 県高文連優秀校発表会(仮称)

2月1日(日)県民会館で開催予定。ステージ部門・展示部門の優秀校の発表を、県民会館の事業として実施する。

(3) 県高総文祭総合開会式開催地区の予定

第31回	平成20年10月8日	盛岡支部	県民会館
第32回	平成21年10月2日	宮古支部	
第33回	平成22年	二戸支部	
第34回	平成23年	盛岡支部	

資料1 平成19年度大会結果

第54回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会

2007-06-08 F 岩手県民会館

アナウンス部門(39エントリー, 優良賞まで全国)

最優秀賞	盛岡第一	(3)藤原悠紀
優秀賞	盛岡第二	(3)鳥居美貴
優秀賞	盛岡第一	(3)木下歌織
優良賞	盛岡白百合学園	(3)工藤愛子
優良賞	盛岡白百合学園	(3)中村仁美
優良賞	盛岡白百合学園	(3)蓬田葵
奨励賞	盛岡第一	(3)北條龍牙
奨励賞	黒沢尻北	(2)菅野友美
奨励賞	盛岡第三	(2)小杉桜子
奨励賞	盛岡第二	(3)八重樫葵

朗読部門(55エントリー, 優良賞まで全国)

最優秀賞	宮古	(3)佐々木優希
優秀賞	盛岡白百合学園	(3)藤澤鮎美
優秀賞	盛岡第一	(3)赤澤智子
優良賞	盛岡第三	(2)細谷翠
優良賞	盛岡第一	(3)長谷川瑞穂
優良賞	盛岡白百合学園	(3)大滝真由
奨励賞	盛岡第二	(2)永野生美
奨励賞	宮古	(3)長内慎子
奨励賞	黒沢尻北	(2)高橋早紀
奨励賞	大槌	(3)横濱千尋

ラジオドキュメント部門(8エントリー, 優良賞まで全国)

最優秀賞	盛岡第二	あったかコトバ
優秀賞	黒沢尻北	水
優良賞	盛岡白百合学園	赤ちゃんポスト
優良賞	花巻北	Shall we じゅ~っ?

テレビドキュメント部門(10エントリー, 優良賞まで全国)

最優秀賞	盛岡第一	タイマグラ
優秀賞	黒沢尻北	ふたつの国
優良賞	盛岡市立	華麗に舞え
優良賞	宮古	The Sound of Japan

創作ラジオドラマ部門(13エントリー, 優秀賞まで全国)

最優秀賞	杜陵	逸(はぐ)れ櫻の唄
優秀賞	盛岡第一	サムライ・ゲーム
(優良賞)	盛岡第二	ぷらなりあ

創作テレビドラマ部門(9エントリー, 優秀賞まで全国)

最優秀賞	盛岡市立	黒い影
優秀賞	黒沢尻北	神's
優良賞	盛岡第二	だんまりーズ

第7回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト

2007-07-03 TU 安比高原細野地区活性化センター

アナウンス部門

優秀賞	盛岡第一	(3)藤原悠紀
優良賞	盛岡第一	(3)木下歌織
優良賞	盛岡第二	(3)鳥居美貴
奨励賞	盛岡第二	(3)八重樫葵

朗読部門

優秀賞	宮古	(3)佐々木優希
優良賞	盛岡第一	(3)赤澤智子
奨励賞	盛岡第三	(2)細谷翠
奨励賞	盛岡第一	(3)長谷川瑞穂

第54回NHK杯全国高校放送コンテスト

2007-07-26 TH NHK ホール他

アナウンス部門

盛岡第一	(3)藤原悠紀	優秀賞(3~4位相当)
盛岡白百合学園	(3)工藤愛子	入選(11~60位相当)
盛岡第一	(3)木下歌織	(準々決勝まで)
盛岡第二	(3)鳥居美貴	(準々決勝まで)
盛岡白百合学園	(3)中村仁美	(準々決勝まで)
盛岡白百合学園	(3)蓬田葵	(準々決勝まで)

朗読部門

盛岡第三	(2)細谷翠	入選(11~60位相当)
盛岡白百合学園	(3)藤澤鮎美	入選(11~60位相当)
盛岡第一	(3)赤澤智子	入選(11~60位相当)
宮古	(3)佐々木優希	(準々決勝まで)
盛岡第一	(3)長谷川瑞穂	(準々決勝まで)
盛岡白百合学園	(3)大滝真由	(準々決勝まで)

ラジオドキュメント部門

盛岡第二	きちょうおん	(準々決勝まで)
黒沢尻北	水	(準々決勝まで)
盛岡白百合学園	赤ちゃんポスト	(準々決勝まで)
花巻北	Shall we じゅ~っ?	(準々決勝まで)

テレビドキュメント部門

黒沢尻北	ふたつの国	入選(11~20位相当)
盛岡第一	タイマグラ	制作奨励(21~40位相当)
盛岡市立	華麗に舞え	制作奨励(21~40位相当)
宮古	The Sound of Japan	(準々決勝まで)

創作ラジオドラマ部門

盛岡第一	サムライ・ゲーム	優良賞(4~5位相当)
杜陵	逸れ櫻の唄	(準々決勝まで)

創作テレビドラマ部門

黒沢尻北	神's	(準々決勝まで)
盛岡市立	黒い影	(準々決勝まで)

第 31 回全国高等学校総合文化祭放送部門

2007-08-02 TH 島根県松江市 くじりメッセ

アナウンス部門

- 盛岡第一 (3) 藤原 悠紀 優秀賞
 盛岡白百合学園 (3) 工藤 愛子
 盛岡第二 (3) 八重樫 葵

朗読部門

- 宮古 (3) 佐々木 優希
 盛岡第一 (3) 赤澤 智子
 盛岡白百合学園 (3) 藤澤 鮎美

オーディオピクチャー部門

- 盛岡第二 昔 あったずもんな

ビデオメッセージ部門

- 盛岡第一 岩手で、すみ 特別賞
 黒沢尻北 鬼の住む町!?

第 25 回岩手県高等学校放送新人大会

2007-11-09 F 岩手県民会館

アナウンス部門(40 エントリー, 優秀賞まで全国総文祭推薦, 奨励賞まで東北大会進出)

- 最優秀賞 盛岡白百合学園 (2) 伊藤真実
 優秀賞 黒沢尻北 (2) 菅野友美
 優秀賞 宮古 (1) 久保田祥子
 優良賞 盛岡第三 (2) 小杉桜子
 優良賞 盛岡第一 (2) 藤本美保
 優良賞 盛岡第一 (1) 阿部温子
 奨励賞 盛岡第一 (1) 千菅春香
 奨励賞 盛岡第二 (2) 阿部章子
 奨励賞 黒沢尻北 (2) 多田美沙紀
 奨励賞 盛岡第三 (1) 古館真美
 奨励賞 盛岡第二 (2) 大村沙織
 奨励賞 盛岡第二 (1) 高橋経子

朗読部門(52 エントリー, 優秀賞まで全国総文祭推薦, 奨励賞まで東北大会進出)

- 最優秀賞 盛岡第三 (2) 細谷翠
 優秀賞 盛岡白百合学園 (2) 大森有真
 優秀賞 盛岡第二 (2) 永野生美
 優良賞 盛岡第一 (1) 黒川絵里加
 優良賞 黒沢尻北 (2) 高橋早紀
 優良賞 宮古 (1) 鈴木真美
 奨励賞 黒沢尻北 (2) 高橋千里
 奨励賞 盛岡第二 (1) 佐々木愛美
 奨励賞 盛岡北 (2) 菊地悠
 奨励賞 盛岡第一 (2) 押田崇
 奨励賞 盛岡第一 (2) 村上泰基
 奨励賞 盛岡第二 (2) 阿部利恵子

ラジオドキュメント部門(3 エントリー)

- 最優秀賞 宮古 テツ, どう?
 優秀賞 盛岡第二 太鼓のなかの View
 優秀賞 盛岡第二 野の花が咲く

ラジオドラマ部門(6 エントリー)

- 最優秀賞 花巻北 Last Letter
 優秀賞 盛岡第三 ハート・フォン
 優秀賞 花巻北 それいけ JK!

ラジオキャンペーン部門(12 エントリー, 優良賞まで東北大会進出)

- 最優秀賞 盛岡第一 ユメロディー
 優秀賞 黒沢尻北 Real or ...
 優秀賞 盛岡白百合学園 リアリスト
 優良賞 花巻北 ア・タ・シ・モ!
 優良賞 盛岡工業 夢~好きなモノのカタチ~
 優良賞 宮古 ネコに願いを...

テレビドキュメント部門(7 エントリー)

- 最優秀賞 盛岡第一 美術部チーム
 優秀賞 黒沢尻北 しゅうへいさん
 優秀賞 盛岡市立 We are JK

テレビドラマ部門(4 エントリー)

- 最優秀賞 黒沢尻北 一步踏み出す場所
 優秀賞 盛岡市立 友の, いと
 優秀賞 盛岡第三 人間観察部

テレビキャンペーン部門(11 エントリー, 優良賞まで東北大会進出)

- 最優秀賞 盛岡第一 わたしの名前
 優秀賞 宮古 アナタは,
 優秀賞 盛岡市立 ユメ
 優良賞 盛岡白百合学園 イチゴ
 優良賞 北上翔南 Dreaming of Green Earth
 優良賞 盛岡第二 十人十色

全国総文祭推薦

- オーディオピクチャー 花巻北
 ビデオメッセージ 盛岡第一 黒沢尻北

第 11 回東北高等学校放送コンテスト

2008-02-02 ST 福島県郡山市 ユラックス熱海

アナウンス部門

盛岡第一 (1) 千菅春香 奨励賞(7~10位相当)
 盛岡白百合学園 (2) 伊藤真実 入選(11~20位相当)
 盛岡第一 (2) 藤本美保
 黒沢尻北 (2) 菅野友美
 盛岡第三 (2) 小杉桜子
 黒沢尻北 (2) 多田美沙紀
 盛岡第二 (2) 阿部章子
 盛岡第二 (2) 大村沙織
 宮古 (1) 久保田祥子
 盛岡第一 (1) 阿部温子
 盛岡第二 (1) 高橋経子
 盛岡第三 (1) 古館真美

朗読部門

盛岡第三 (2) 細谷翠 優良賞(4~6位相当)
 黒沢尻北 (2) 高橋千里 入選(11~20位相当)
 盛岡白百合学園 (2) 大森有真 入選(11~20位相当)
 盛岡第一 (1) 黒川絵里加
 盛岡第二 (2) 永野生美

盛岡第一 (2) 村上泰基
 盛岡第二 (1) 佐々木愛美
 黒沢尻北 (2) 高橋早紀
 盛岡北 (2) 菊地悠
 盛岡第一 (2) 押田崇
 宮古 (1) 鈴木真美
 盛岡第二 (2) 阿部利恵子

ラジオキャンペーン部門

黒沢尻北 Real or ... 優秀賞(2~3位相当)
 盛岡第一 ユメロディー 優良賞(4~6位相当)
 盛岡白百合学園 リアリスト
 盛岡工業 夢~好きなモノのカタチ~
 花巻北 ア・タ・シ・も!!
 宮古 ネコに願いを...

テレビキャンペーン部門

盛岡第一 あなたの名前は, 優秀賞(2~3位相当)
 宮古 アナタは, 奨励賞(7~10位相当)
 北上翔南 Dreaming of Green Earth
 盛岡市立 Dream
 盛岡白百合学園 イチゴ
 盛岡第二 十人十色

資料 2 岩手県高文連紀要・全国高総文祭記録集より

(省略)